

国際サービスシステム メンテナンスニュース

VOL.5
2000/10/31
国際サービスシステム(株)

タイヤの話

今回は非常に過酷な条件で使用されている、タイヤのお話です。
タイヤも日常点検やメンテナンスのやり方で未然に事故が防止できたり、**タイヤの寿命**が延びたりします。

事例1

右の写真は当社管轄内で発生した事例です。国道を走行中
タイヤが写真の通り**バースト**して、危うくガードレールに突っ込みそうに
なった。運良く事故にはいかなかったが、その日のラジオ交通情報
で放送されるぐらいの**大渋滞**を引き起こしてしまった。
この事例は、たまたま再生タイヤを使用していたことが原因です。



再生タイヤはリサイクル商品として、脚光をあげ又それ自体優れた
商品ですが基本的には使用済みタイヤにゴムを貼りつけ再生しているの
で使用済みタイヤ自身劣化している等々、前の使用状況が解らない場合
があります。例えば前の使用者がタイヤのローテーションや空気圧の調整等
メンテナンスを無視して使用していたり、多滑車等装着して過酷に走行
していたとか、再生タイヤを使用した場合通常より更にメンテナンスに
注意する必要があると考えます。

事例2

首都高速1号線走行時鉄片を踏みタイヤがパンクしてしまった。
これまた首都高速は**大渋滞**でした。



事例3

右の写真は**偏摩耗**で交換をしたタイヤですが
これもメンテナンスの仕方でもまだ
使用可能だったと思われます。

最近のラフタークレーンは昔に比べタイヤにかなりの負荷がかかるように設計されています。
重たい車両を4本のタイヤで支えているラフタークレーンのタイヤは非常に過酷で厳しい状況で
使用されている事を忘れてください。

安全面を考慮致しますと、メーカー指定のタイヤを装着する事をお勧めします。

国際サービスシステムは一年中タイヤを格安でご提供しています。是非ご利用してください。

タイヤのメンテナンスについて

1. 空気圧の点検

タイヤの**適正空気圧**は 8.0kgf/cm² (0.8Mpa) でラジアルタイヤの場合

9.0kgf/cm² (0.9Mpa) ぐらいをめでに調圧してください。(取り扱い説明書を参照してください。)

2. タイヤのローテーション

5000km走行毎に必ずローテーションする事。

基本はタイヤの**回転方向を変えて**ください。

通常は**たすき**にローテーションして下さい。

3. ホイールナットの増し締め

新車時から数10km走行時又はローテーション
等でタイヤを脱着後数km走行時

ホイールナットの増し締めが必要です。

特に大型機種は必ず実施してください！(取り扱い説明書を参照してください。)

4. タイヤの外観点検

トレッドのスリップサインがでたら摩耗限度です。

タイヤの外面に外傷・亀裂・タイヤコードに達しているものは交換が必要です。

特に**再生タイヤ**をご使用されているお客様は**外観点検**が重要です。**膨らみ(ヒレーション)**・**ひび割れ**
亀裂等十分注意してこまめに**点検**して下さい。

5. タイヤの保管方法

スパイク等水平に置いて保管しますと、皿に水が溜まり錆びが発生しア-漏れ等の原因になります。

極力立てて置きシート等を掛けて保管してください。(歯止め等お忘れなく！)

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら**国際サービス**にご相談ください。

